

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- カルデラ底の平野部を中心に水稻や野菜等の園芸作物、広大な草原を活用した畜産が行われている中山間地域。
- 主力農業者の高齢化が進み、後継者等の担い手不足が顕著であるため、担い手の経営改善に向けた取組支援や後継者等の担い手の確保・育成が重要な課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営改善として、規模拡大に向けた農作業の効率化に資する機械の導入等の取組を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で水稻を中心に、麦、そば、飼料用作物等を栽培しており、水稻の共同育苗、収穫や乾燥調製の共同作業の体制整備及びスマート農業機械の導入による作業効率化を図るほか、後継者の育成にも取り組んでいる。規模拡大も志向しており、地区における農業経営改善の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「農事組合法人碧水」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成17年 集落営農組合設立
- 平成30年 法人設立
- 平成30年 経営改善計画認定
- 平成31年 育苗の共同作業開始
- 令和2年 稲刈り、乾燥調製の共同作業開始、新規作物（里芋、白菜、ミニひまわり）の栽培開始
- 令和5年 ドローンを取得し農薬散布作業を省力化

《事業活用の背景》

- 主力となる水田作の規模拡大に向けて、田植え作業及び乾燥調製作業の効率化並びに生産性の向上に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 付加価値額 414千円
- 売上高 72,911千円
- 経営面積（水稻） 52.4 ha

《事業による整備内容》

- 乾燥調製ユニット 1式
事業費 6,901千円
（国費 1,882千円）
- 田植機（6条植）1台
（GPS付アシスト機能）
事業費 2,453千円
（国費 669千円）



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 付加価値額 901千円
(218%)
- 売上高 81,714千円 (112%)
- 経営面積（水稻） 62.3ha
(119%)

事業の
効果

- 《対象者》 機械導入による作業効率化並びに生産性の向上により経営面積が拡大、売上高も増加。
- 《地区》 農地集積の促進、地区の中核を担う水田作経営体の経営改善モデルの確立。